



▲左から 小池咲さん 鈴木町長 小池颯さん

3月に第34回全国高等学校ボクシング選抜大会に出場する小池颯さんと、第2回全日本UJフレッシュボクシング大会に出場する小池咲さん（大口中学校）が、試合を前に鈴木町長を表敬訪問しました。「優勝を目指して全力を出し切ります」と、試合の意気込みを話す2人に、「大口町から全国へ羽ばたくお2人の活躍を楽しみにしています」と鈴木町長が激励しました。

兄弟揃いボクシング競技で全国大会出場

3/6
月



▲亀谷社長と鈴木町長

カメガイ防災設備（株）から、組み立て自由な積み木とボールのおもちゃ「ボールトラックゲーム」2台を町立西保育園にご寄贈いただきました。
2月10日（金）、役場2階町長応接室で贈呈式がおこなわれ、亀谷社長から鈴木町長に目録が渡されました。子どもたちは、登園するとすぐにゲームをとり出して友だちと積み木の組み立て方を工夫しながら夢中になって遊んでいます。

おもちゃのご寄贈ありがとうございます

2/10
金



第33回 桜並木健康ジョギング

3/12
日

第33回桜並木健康ジョギングが3年ぶりに開催され、306名が参加しました。
コースは、5キロ・3キロのジョギングコースと、1・8キロウォーキング（ポールウォーキング）コース。学校の部活動など、仲間同士で参加した子どもたちから高齢者まで、幅広い世代が開花間近の五条川沿いの桜並木を駆け抜け汗を流しました。



歌声届ける 第13回おおぐち合唱祭

2/23
木

おおぐち合唱祭が町民会館で開催され、9団体がステージに立ち、合唱曲など美しいハーモニーを披露しました。
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3年ぶりの開催になりました。出演者は、「3年のブランクがあるため、声を出すためにボイストレーニングや、声を合わせる練習を重ねました。歌い出しはとても緊張しましたが、楽しく歌うことができました」と話されました。



石川県かほく市での応急給水活動



今年1月、記録的な寒波が到来し、水道管の凍結破損などにより石川県各地で広域断水が発生しました。かほく市では5000戸以上が断水し、この非常事態を受け、日本水道協会中部地方支部を通じて丹羽広域事務組合水道部へ応急給水の派遣要請があり、1月27日から31日まで加圧式給水車（令和4年度購入）による応急給水活動（派遣職員数5名）をおこないました。

雪が降りしきる中、住民の方から「いつになったら水が使えるですか？」と問われる度に胸が苦しくなり、水が使えない生活の大変さを改めて痛感しました。

断水解消後は、「4日ぶりに風呂に入れたよ、ありがとう」と話していたおじいさんの笑顔がとても嬉しそうで、心が温まりました。また、油野かほく市長からお礼の言葉をいただきました。

今回の貴重な経験を活かし、災害時での迅速かつ効率的な対応ができるよう努めてまいります。

北保育園で感謝の集い



▲年長組の園児

北保育園で、日頃お世話になっている地域の皆さんに感謝の気持ちを込め「感謝の集い」が催されました。

園児を代表して年長組が「いつも私たちを見守ってください、ありがとうございました」と大きな声でお礼の言葉をのべ、卒園式で歌う「ね」を、元気よく歌いました。

年長組が保育園に入園進級した3年前、新型コロナウイルス感染症の影響で緊急事態宣言が発出され、登園できない日々が続きました。その後も園の行事が縮小されるなど、さまざまな制約を受けコロナ禍を過ごしました。その中でも大きく成長した年長組。やっとマスクをはずして発表できる子どもたちに、地域の皆さんから大きな拍手が送られました。

▲手作りのメダルをプレゼント



▲全員でお見送り